



廿日市市教委だより

令和2年
5月15日
第2号

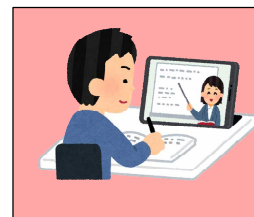
～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月17日から5月31日まで再び学校が臨時休業になり、長期の休校で児童生徒の健康や学習について、心配されていることと思います。

市教育委員会では、臨時休業中の児童生徒の学習や生活が少しでも有意義な時間となるよう、先生方と一緒に、可能な限り児童生徒を支援していきたいと考えています。

今回は、現在行っている取組をいくつか紹介したいと思います。



臨時休業に係る教育長メッセージ

私は、みなさんが安心して学校に登校することができ、自信を持っていろんな活動に積極的に参加することを願っています。また、勉強が分からなくても、友だちに「教えて」と聞くことができたり、困っている友だちを見ると、自分から声をかけたり、分かるように一緒に頑張ったりすることを願っています。

しかし、このたびコロナウイルスで病気になった人が広島県内で増えてきたため、みなさんが病気にならないようにするために、今日から学校をお休みにすることにしました。学校に通うことを楽しみにしている皆さん、ごめんなさい。みなさんを病気から守るためにしたことなので、分かって欲しいと思います。

みなさんが病気にならずに、また学校で一緒に勉強できるようになるために、お願いしたいことが2つあります。

1つめは、「できるだけ家にいてください」ということです。病気がうつらないためには、人に会わないことが大切です。登校日だったり、ご飯を買いに行ったりするなど、どうしても出かけなければならないとき以外は、頑張って家にいてください。

2つめは、「規則正しい生活をする」ということです。決まった時間に起きて、先生から出された宿題を計画を立ててきちんとしておいてください。次に学校に来るときに、困らないように、誰かに言われなくても、自分から頑張って行ってください。

見えないコロナウイルスは怖いと思います。しかし、おうちの人や先生の言うことをよく聞いて実行していけば、きっとウイルスの病気は減っていくと思います。

今回、学校がお休みになるので、悲しい気持ちになっているかもしれませんが、逆に、友だちの大切さ、学校の楽しさを改めて感じてくれているのではないのでしょうか。次にみんなで元気で学校に集まって、また一緒に遊んだり勉強したり出来るようになるために、さっきお願いした2つのことを、しっかりと守っていきましょう。

私も、先生たちも、皆さんと会えないことは寂しいけれど、皆さんがおうちで頑張っているのを、応援しているし、電話やメールなどで様子を聞くとときもあると思うので、頑張っている様子を教えてください。また学校に集まる時まで、元気で、頑張りましょう。

令和2年4月17日 廿日市市教育委員会教育長 奥 典 道

子どもたちに届け!! FMはつかいちコラボ企画 「先生からのメッセージ」

4月17日より再度臨時休業となり、5月11日現在も子どもが学校に登校していない状況が続いています。この間、子どもたちが学校へ登校したいと思うように、先生たちも子どもたちに会って、様々なことを伝えたいという思いが募っています。

このような時に、FMはつかいちさんの方から、「先生が子どもたちに語りかけるコーナーをしてみませんか」と声をかけていただき、この企画が実現しました。



【トップ放送の津田小での収録の様子】

5月8日から29日までの平日、朝9:00～と昼12:00～の1日2回、宮島幼稚園、各小中学校の先生がそれぞれ工夫を凝らして、子どもたちへのメッセージを発信しています。

是非、先生たち子どもたちへの思いを聞いてみてください。

聞き逃したという方は、FMはつかいちのHPに過去の放送分もあります。



スマホ・PCでも聴ける
インターネットサイマルラジオ
FMはつかいち

「動画で授業」YouTube チャンネル ～おうち時間を有意義に！～

臨時休業中の家庭学習を支援しようと、廿日市市内の先生方が協力し合って、家庭学習の課題に取り組む際に留意することや取組方等の解説を動画で撮影し、YouTube チャンネルにアップロードすることになりました。

小学校は、各学年の国語・算数に加え、「学びの玉手箱」に関連した図工や体育（なわとび）の動画を、中学校は、5教科（国語・社会・数学・理科・英語）の動画を撮影し、アップします。

令和2年5月11日（金）には、協力してくださる先生方が集まって、どんな内容の動画にするとよいか話し合いました。

動画は、廿日市市の特設サイトに令和2年5月18日から随時アップします。ぜひ、ご覧ください！！

【廿日市市特設サイト】

<https://hatsukaichi-edu.com/>

※アクセスには、ID・パスワードが必要です。

（限定公開）市教育委員会から学校に送付します。



【代表の先生方の話し合いの様子】

スポットライト!

～この人に注目～

Q1 ICT 指導員をしようと思ったきっかけを教えてください。

2年間、非常勤講師をしていました。その中で、自分の中に「教師を目指したい」と思う気持ちとともに、「情報系の能力をもっと生かしたい」という気持ちがあることに気が付きました。気持ちが揺らいでいましたが、廿日市市がICT 指導員を募集されているということを知りました。学校現場で情報系の能力を生かすことのできるこの仕事は、自分にとって天職かもしれないと感じ、挑戦してみることに決めました。



ICT指導員
隼本 航紀 さん

Q2 約1ヶ月、廿日市市の小中学校を訪問しましたが、いかがでしたか？

自分がこれまで学んでいたこと以上の能力が求められ、常に調べながら業務にあたっている状態で大変でしたが、引継ぎも終え、各校の状況のある程度把握することができました。今後は先生方とどんどん打ち合わせをして、ICT 機器を活用していただけるようがんばります。

常に勉強し続ける姿勢を崩さず、自分が授業してきた経験も生かして、柔軟に対応できるように、頑張っていきます。よろしくをお願いします。

現在、先生方、子ども達が使う「GSuite」（オンライン授業などに活用されるツール）のアカウント作成をしていただいています。



命の大切さについて考える日

5月8日の朝、学校教育課をはじめ、教育部の職員全員を前に、教育長より訓示がありました。内容は、今から7年前の平成25年5月8日に生じた、本市中学3年女子生徒が自ら命を絶つという、非常に痛ましい出来事についてでした。

この日のできごとを決して風化させてはならないという思いから、平成26年度より「命の大切さについて考える日」を設定して、「すべての子どもたちが、いじめを許さず、自分や他人の命の大切さを真剣に考える取組」を全市的に行っています。

今年度、本来通りの実施はできませんでしたが、当日、皆さんも色々な思いを巡らせたことと思います。

つながれ！ 広がれ！ 「宝の山」

教育長は訓示の中で、「二度と同じようなことがあってはならない。」「なぜ、このようなことが起きてしまったのか、自分事として考えてほしい」という思いを切々と語られました。

私自身、このような思いを、どこまで先生方に伝えることができているだろうかと思改めて考えさせられました。

この「いじめを許さず、自分や他人の命の大切さを真剣に考える取組」は、5月8日だけで終わりではありません。学校生活で営まれる様々な取組はこの考えに基づいていることを忘れずに、点の取組から、一本の線のように点と点を貫く取組を進めていきましょう。

after コロナで、社会も学校も大きく変わると言われていますが、「不易」な部分を失わないようにしたいものです。

学びの玉手箱お届けプラン

臨時休業中、学力維持を図るために、子ども達は各校で出されている課題に取り組んでいることと思います。

教科書やドリル等を使った学習だけでなく、子ども達の興味・関心に応じた課題や体験的な課題を提示することができないかと考え、「学びの玉手箱お届けプラン」を実施することになりました。

主体性や創造性を育てるために、小学生にはもの作りの体験をすることができる教材セットを、中学生には夢の実現につながる書籍を購入するための図書カードをお届けします。

子ども達が試行錯誤しながら作品を作ったり、夢や目標をもって課題に取り組んだりすることを願っています。

この休業中に子ども達が取り組んだ成果が次の学びにつながると思います。

